

# 『仮想通貨の中でビットコインが最大なのはなぜ?』

文 小田 玄紀 text by Genki Oda

ビットコインが誕生したのは2009年。約10分単位で新しいビットコインが発行される仕組みで、流通量は1575万BTCを超えています(2016年9月現在)。

ビットコインは発行上限があらかじめ決められており、上限は2100万BTC。すでにその75%が発行されており、新規発行量を減らす「通減期」に突入しています。

ビットコインは24時間365日、取引されており、売りたい人、買いたい人との関係により、価格は刻々と変動します。きりのいい数字としてBTC≒6万円で計算すると、1575万×6万円で、時価総額は9450億円になる計算です。

日本国内だけでも、最近では1日当たり取引量が100億円を超えるまでになっています。

ビットコインがプログラムどおりに順調に発行され、価格も上昇し、1兆円近くまで時価総額を増やしたのは、その「信用・信頼性の高さ」からです。

ビットコインは「ブロックチェーン」という技術が使われており、ビットコインを発行、管理するシステムは精密で強固なものです。その信頼性から多くの取引が行われ、実績を積み上げ、



Profile

株式会社ビットポイントジャパン 代表取締役社長  
1980年生。東京大学法学部卒業。大学在籍時に起業し、後に事業を売却した資金を元にマッキンゼー出身者と共に投資活動を始め。  
「頑張る人が報われる」をコンセプトにして起業家や社会起業家の事業立ち上げ・経営支援を行う。株式、FX、債券などの投資にも精通し、仮想通貨取引にも携わる。2016年3月に上場会社子会社として初の仮想通貨取引所であるBitpointを立上げ、同社代表取締役就任する。

最もメジャーな仮想通貨となっているわけです。

仮想通貨を支える仕組みは、ブロックチェーンと呼ばれる技術がベースになっています。

最近ではメガバンクもこのブロックチェーンを採用する動きがあるなど、広く認められた技術です。

たとえばAさんが銀行に100万円の預金を持っていたとします。

Aさんの通帳には、100万円の残高が記されています。

もしもAさんが超高性能印刷機を購入して通帳に残高1億円と書き込み、通帳を持って銀行に行ったとしても…?

Aさんは100万円しかおろすことができませぬ(私文書偽造などで逮捕される可能性もありますので、絶対に真似しないでください)。本物そっくりに1億円と書き込んでも、銀行は預金を

管理するデータにより、Aさんの残高が100万円しかないと知っているからです。

銀行は、中央サーバーで顧客の台帳(残高や入出金履歴)を管理しており、Aさんが不正に1億円を引き出そうと思うなら、通帳ではなく、この中央サーバーを改ざんしなければなりません。

万が一、そんな改ざんが起きたら、大変なことになりますから、銀行は中央サーバーの維持・保守に巨額の資金を投下しています。中央サーバーが何者にも侵入されず、情報を書き換えられるといったことが起きないように、強固なセキュリティを施しているのです。

一方、ブロックチェーンは発想が全く異なります。

—— 次号に続く ——

「1時間でわかるビットコイン入門」  
「1円から送る・使う・投資する」  
(株式会社インプレスより)